

銚田市地域公共交通網形成計画(たたき台)への意見の対応と修正内容

意見	(第2回地域公共交通会議:中村委員) 公共交通マップは配布だけか。説明はしないのか。配布するだけだと捨ててしまう人がある。 民生委員や社会福祉協議会等を巻き込みながら協力してもらい説明するのが良い。	
対応	公共交通施策の公共交通マップは配布だけでなく、説明もしていく旨に修正します。	
修正 内容	P113	説明「●公共交通マップ」を、「●公共交通マップの作成と配布」に修正
	P113	説明「●公共交通マップの作成と配布」に全戸配布し説明もしていく旨を追記
	P114	「●銚田市乗合自動車の利用方法説明会兼利用登録会」で、他の公共交通の説明もする旨を追記

意見	(第2回地域公共交通会議:鈴木勉委員) 公共交通の利用者数は市内の利用者数か。110ページの数字目標の指標の説明を明確に記載した方が良い。	
対応	110ページの数字目標の指標の説明を明確に記載します。	
修正 内容	P109	数値目標の公共交通の利用者数を、「大洗鹿島線の1日あたりの市内駅の利用者数」、「路線バスの1日あたりの市内バス停の利用者数」に修正
	P110	②公共交通の利用者数の説明を、市内駅、市内バス停を対象とする旨が分かるよう詳細に記載

意見	(第2回地域公共交通会議:鈴木勉委員) 133ページの段階的目標の⑥交通弱者の移動支援は第1段階しか記載されていない。第2段階ではやらないように見える。デマンド型乗合タクシーの運行に移行するのであれば、継続もしくは統合する形にした方が良い。	
対応	133ページの段階的目標の⑥交通弱者の移動支援は第2段階以降も継続する形に修正します。	
修正 内容	P133	●段階的目標の⑥交通弱者の移動支援の第2段階、第3段階に点線の矢印を追記
	P134	●段階的目標の⑥交通弱者の移動支援のR4～6年度に点線の矢印を追記

意見	(意見書:横関委員) P124 運賃の項目で、利用対象としての市民の中で公共交通を一番必要としている生活保護を受給している方々への対策が見当たらないのですが、特別な策はないのでしょうか。
対応	生活保護者についても、交通弱者対策の中で考えていくことになりますので、原文のままといいたしますが、ご意見の内容については、今後デマンド型乗合タクシーの運賃の割引制度を検討するにあたり、参考とさせていただきます。なお、県内のデマンド型乗合タクシーでは障害者、要介護者等の割引事例はありますが、生活保護受給者の割引事例はありません。

意見	(意見書:鈴木賢委員) 高齢者の足については、タクシー以外は共助というような方向性かと思いますが、共助をシステム(Uber や notteco などのライドシェアサービス)にするような取組は考えていないのでしょうか。 ※notteco:「安く移動したい人」と「ガソリン代などの実費を節約したいドライバー」をつなげる日本最大の相乗りマッチングサービス
対応	ICT を活用した共助のシステム化も研究していく必要があると考えており、施策として P128 地域ごとの自主的な送迎システムの事例研究、地域ごとの自主的な送迎システムの普及、配車アプリ等の ICT 導入の事例研究と記載しているため、原文のままといいたします。

その他の 修正 内容	表紙	(たたき台)から(素案)に変更、年月を更新
	P106	●将来の市民の移動手段のめざすべき姿の切れていた文書を表記
	P124	「●運行計画表の検討項目」を、「●運行計画表の検討項目と現行の内容」に修正
	P127	●銚田市高齢者タクシー利用助成事業の実施内容の<助成内容>を、ですます調からである調に修正
	P137	2.策定経緯に令和元年度第3回銚田市地域公共交通会議以降の内容を追記
	P138	(右上の表)将来の市民の移動手段のめざすべき姿の切れていた文書を表記
	その他	文書のフォント等の体裁を一部修正